

# 中高一貫だより

<編集・発行>  
えりも地区連携型  
中高一貫教育  
推進委員会事務局

## 社会に開かれた中高一貫教育を！



えりも地区連携型中高一貫教育推進委員長  
(北海道えりも高等学校長)  
佐藤 健

平成16年度より開始したえりも町の中高一貫教育は15年目になります。中高一貫の取り組みと並行し、日本の教育改革もどんどん進んできました。現在日本の教育では「社会に開かれた教育課程」ということが謳われております。よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、社会に求められる資質・能力とは何かを明確化し、学校と社会が教育活動の内容を共有・評価し合いながら、協力関係を進めていくというものです。ただ忘れてしまうような知識・技能としてではなく、社会に有為な資質・能力が身に付くように生徒を育成しましょう、そのために社会にも学校に寄り添い協力してもらいましょう、というのがねらいです。

また、次期学習指導要領では他と協働しながら積極的に課題解決にあたる、探究活動が重視されています。えりも町では小学校における海浜遠足、中高一貫教育で百人浜植樹等によるえりも緑化の学習、駒踊り学習による郷土芸能の継承、地元の特産物の食育等と、「えりも学」とでもいふべきふるさと学習を行っています。

えりもの中学校・高等学校では中高一貫教育により、学校間ではありますが既に互いに開かれた関係となっており、また、地域の課題・文化を積極的に学習活動に導入し、地域の人々の協力を得ながら教育活動を進めてきております。このように、えりもの中学校・高等学校・地域が一体となり、生徒の成長の様子を互いに見守っていく地盤が整っていることに改めて感謝の念を感じ、今後この関係を一層強めることにより、近年の教育改革にも対応していきたいと考えております。町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 学力向上に向けた取り組み

えりも中学校とえりも高校間で行われている中高一貫教育推進事業では、「えりもの子」達の学力向上を軸として、学校間の授業交流を柱とする種々の取組を行っており、今年度で十五年目を迎えました。今まで培ってきた実践を活かし、さらに学習の深化につとめていきます。また、進路学習や生徒会行事を活発にし、今後新たに大学入試で問われるキャリア能力やコミュニケーション力を養い、総合的な学力向上を図ってまいります。紙面の都合で一部とはなりますが、教科に関してそれぞれの取組の概要を紹介いたします。

えりも地区連携型中高一貫教育推進事業では、「えりもの子」達の学力向上を軸として、学校間の授業交流を柱とする種々の取組を行っており、今年度で十五年目を迎えました。今まで培ってきた実践を活かし、さらに学習の深化につとめていきます。また、進路学習や生徒会行事を活発にし、今後新たに大学入試で問われるキャリア能力やコミュニケーション力を養い、総合的な学力向上を図ってまいります。紙面の都合で一部とはなりますが、教科に関してそれぞれの取組の概要を紹介いたします。

<p>【国語部会】今年度は、中高一貫漢字学習が9年目を迎えます。これまでの8年間の取り組みをふまえ、中学校から継続したテキストを用いて漢字学習を行います。また、今年度も高校教員による乗り入れ授業を実施し、中学生の学力テストや高校入試対策を行う予定です。(佐藤(竣))</p>	<p>【社会科・地歴公民科部会】今年度も年3回のコンクールを実施し、基礎学力及び学習意欲の向上を図ります。また、中1～高1までの環境教育「百人浜に学ぶ」を通して、環境問題に関する意識向上を目指します。(伊藤(麻))</p>
<p>【数学部会】今年度は高校教員が週4回中学1年生の授業にTTで入ります。生徒の困り感を早期に発見し、対応することができ、一人一人によりきめ細やかな指導をできます。また、2月には高校教員も含め、5展開での受験対策授業を行います。生徒の希望進路を叶えられるよう力を入れていきます。(伊藤(康))</p>	<p>【理科部会】今年度も課題テスト、小テストで基礎の定着をはかります。また、環境教育「百人浜に学ぶ」を通して、えりもの自然と環境保護について学びます。中高教員によるティームティーチングの授業も行います。昨年度に引き続き、今年度も高校教員による乗り入れ授業も予定しています。(大竹)</p>
<p>【英語部会】今年度は高校教員が中学3年生の授業に週2回入ります。中学校の担当教員と連携し、中学生の基礎学力向上を図ります。また中高合同英検を今年度も実施します。第3回の英検では中学生の受検料が全額補助されますので、より多くの生徒が取得できるよう、力をつけられる授業を展開していきます。(松本)</p>	<p>【保健体育部会】今年度も中高生の体力向上を狙いとして、中1から高3まで新体力テストを実施しています。その結果を分析し、課題に応じた体力向上の取り組みを行います。また、中高教員が互いの学校に乗り入れてティームティーチングを行う授業も実施します。(林(宏))</p>

えりも中学校における

## 中高一貫教育について

中高一貫教育として、今年度のえりも中学校が取り組む内容について紹介します。

### 1 高校教員によるTT授業

(英語科・数学科・体育科)

えりも中学校では、数学と英語の時間にえりも高校の先生が来校し授業を実践しています。TTとして指導してもらうほかにも、高校で学習する内容の話をしてもらうこともあります。

英語・数学については、3学年の英語は「松本公輔先生」、数学は1学年に「前川太郎先生」に来ていただいています。

また、体育科においては高校の体育科の「林宏幸先生」と「田中優樹先生」の協力を受けて、体力テストを実施しています。中高6年間での体力向上をめざし、本校の生徒の体力の傾向を十分に理解してもらう機会になっています。

この他にも3年生の3学期に実施する「乗り入れ授業」では、各教科の先生に来校していただき、高校入学後に学習面などでの課題を抱えないために、中学校の教員とともに授業を実施する予定です。このように高校教員の乗り入れによって、本校生徒の学力のさらなる定着をめざした取り組みを本年度も計画的に実施する予定です。

### 2 環境フィールド学習

(1) 百人浜に学ぶ講演会

6月11日(月)3・4時間目に日高南部森林管理署えりも治山事業所治山技術官の瓜田元美氏を講師に招き、百人浜緑化事業の歴史について学習しました。

社会では、えりも緑化と歴史についてNHKの「プロジェクトX」の番組DVDを視聴して、百人浜の歴史的経緯を学習しました。また、理科では「環境問題と森林の大切さ」についての映像を視聴して森林破壊について学習を深めました。

えりもの未来を担う本校の生徒に、緑化事業の意義や大切さを学んでもらうために毎年企画しているこの学習は、今年度も生徒にとって多くのことを学べる意義のある機会となりました。

(2) 百人浜に学ぶフィールド学習A

6月18日(月)、えりも中学校の1年生が百人浜で植樹を行いました。前半は、えりも町林業総合センターでの植樹をする上で土台となる「カミネッコン」を製作し、後半は、百人浜へ行き、「カミネッコン」にシラカバ、ヤチハンノキなどの苗木を入れて土に埋める作業を行いました。

(下の写真は今年度の様子)



上記の他にも保護者を対象として行われる「えりも高校学校説明会」、全学年を対象として実施する「進路講話」、3年生が対象の「職業別ガイダンス」、また、2年生が対象の「1日体験入学」など、生徒のよりよい成長のために中高一貫教育の良さを十分に生かした教育活動を進めていきます。